



小原力三議員

**問 指定管理者制度導入は**

**答 プロジェクトチームで  
具体策**

**問** 指定管理者制度は、多様化する住民ニーズに、より効果的かつ効率的に対応するため、公の施設の管理を民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上と経費の削減等を図ることを目的としている。

**答** 財政的にも大変な時期であり、改革にいやおうなく取り組まねばならない。  
町長の考えは。

**答** (山口町長)  
指定管理者制度の導入が考えられる施設としては、索道事業・温泉事業・地域休養施設(山香荘)、保険福祉センター・保育所・診療所といった福祉・医療関係施設、公民館・図書館・各種体育施設

等の社会教育・社会体育施設及び公園等である。

指定管理者の選定の基準として、  
(1)公の施設の効を最大限発揮するとともに、利用者の公平な利用の確保及びサービスの向上が図られるものであること。

(2)公の施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しており、または確保できる見込みがあること。  
(3)公の施設の管理経費について、町が管理する場合に要するものと同程度以下で管理することができること。

このような指定基準を設ける必要性があると考えている。  
管理職の中から、公

共施設の管理運営について、指定管理者制度の導入も含めて今後のあり方を検討するプロジェクトチームを編成し、具体策をまとめていきたい。



山香荘も制度導入が検討される

**問 学校給食に地元食材を**

**答 検討委員会を設置、調査中**



遠藤幸子議員

**問** 町内で生産される豊富な農産物の給食利用が少ないが、どのように考えているのか。  
今後、取り組む時期は考えているのか。  
給食の味のチェック・指導はどうなっているのか。

**答** (山口町長)

給食のあり方は、大山・名和・中山地区でそれぞれ異なっている。  
課題を整理し、改善策を策定するため、給食改善検討委員会を設置、年末までに調査を終了する予定。

食材の供給体制を整えることが、大きな課題。農産物・水産物を一時加工してから利用することにより、調理時間の短縮になる。

給食用ばかりでなく、食材の一時加工により、付加価値をつけることは、大山町振興の課題でもあると考える。

以上のことを含め、検討していきたい。

**答** (山田教育長)

地元の食材を給食に利用することは、教育上とても大切なことと考えている。

給食の味は、中山地



給食の用意ができました。(大山西小)

区は自校炊飯、大山・名和地区は委託による、蒸し炊きで違いがあり、残飯にも差がある。  
現在、大山の調理室を改善中で、食材の供給・調理方法・献立などを検討委員会で検討したい。